

現役アプリUIデザイナーが本気で分析

# App Design Review

コンビニエンスストア編

2022年1月6日

株式会社DearOne

# Contents

- 1 はじめに
- 2 企業別 アプリアクティブユーザー数
- 3 ホーム画面
- 4 クーポン画面
- 5 Pick Up
- 6 総評

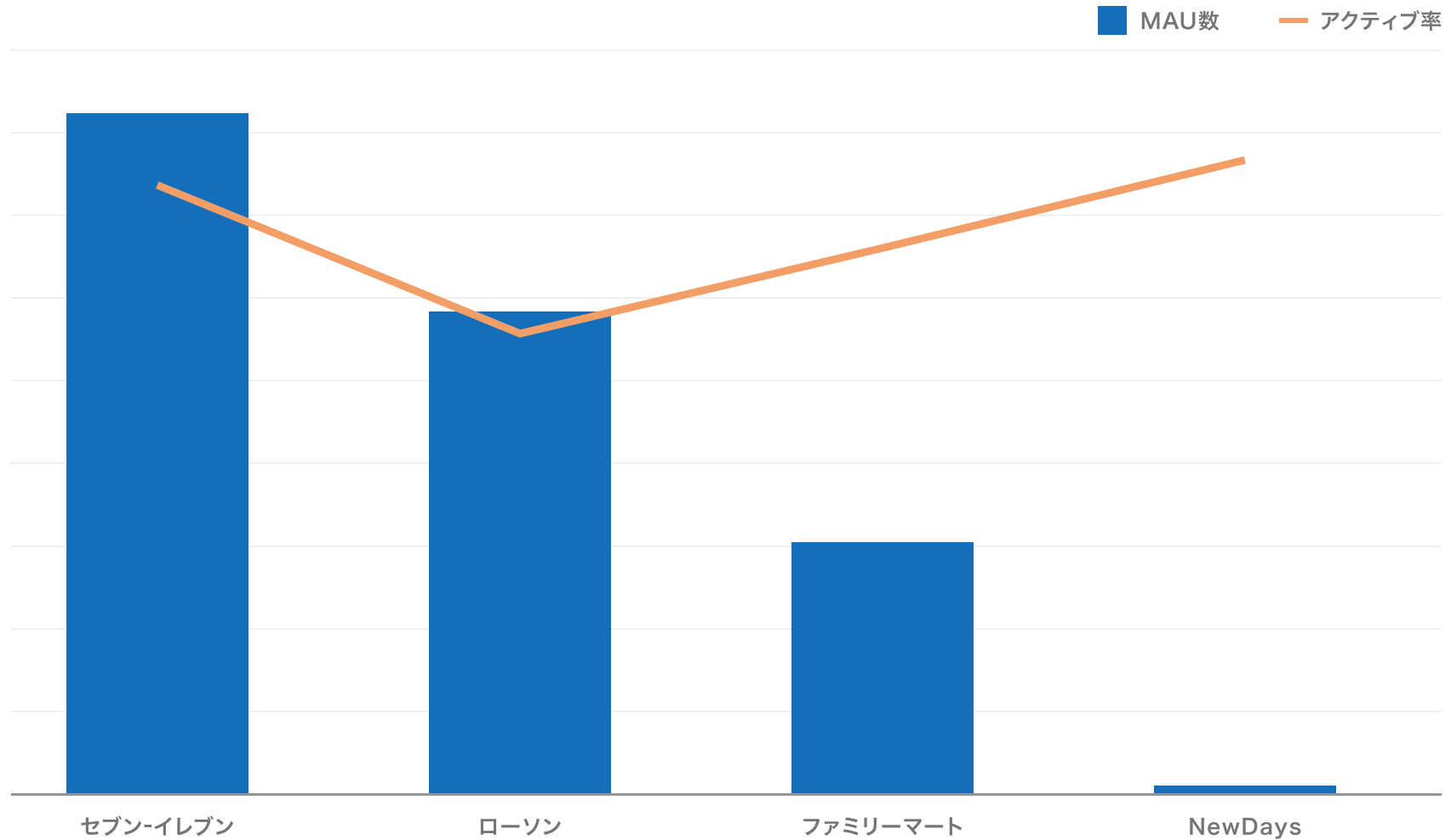
# 1 はじめに

本書は、SaaS型アプリ開発サービス「ModuleApps2.0」を提供する株式会社DearOneに在籍するUIデザイナーが、その知見をもとに各業界のアプリデザインのレビューを行ない、共通点やデザインの傾向をまとめたものです。

アプリを運用されている企業様にとって、アプリデザインの参考となれば幸いです。

※レビューの内容はあくまで第三者としての株式会社DearOne独自の見解であり、アプリを提供する企業の見解とは一切の関係はありません。  
※本資料に掲載の情報や文章は株式会社DearOneに帰属します。情報の無断使用・転載は固くお断り致します。

## 2 企業別 アプリアクティブユーザー数



対象期間：2021年10月1日～12月31日 株式会社DearOne調べ

### 3 ホーム画面 | ユーザビリティを考慮したUI設計

#### セブン-イレブン



- 1 ホーム画面上部にバーコードを表示することで、会計時に会員コードをレジですぐに提示できるように工夫されている。

#### ローソン



- 1 会計時に貯めるポイントを「Pontaポイント」か「dポイント」かを選べる仕組みになっており、2枚のカード券面を表示することで現在選択しているポイント種別と、貯めるポイントをどちらか選択して切り替えられることを理解できるUIになっている。

#### ファミペイ



- 1 クーポンなど利用頻度の高い機能はホーム画面に表示し、その他機能はサービス一覧に効果的にまとめている。
- 2 キャンペーンやおすすめ情報をコンパクトなサイズのスライドバナーで見せることでスペースを有効活用している。

#### NewDays



- 1 お得なキャンペーン情報を大きく表示してアピール力を高めた画面設計。

## 4 クーポン画面①

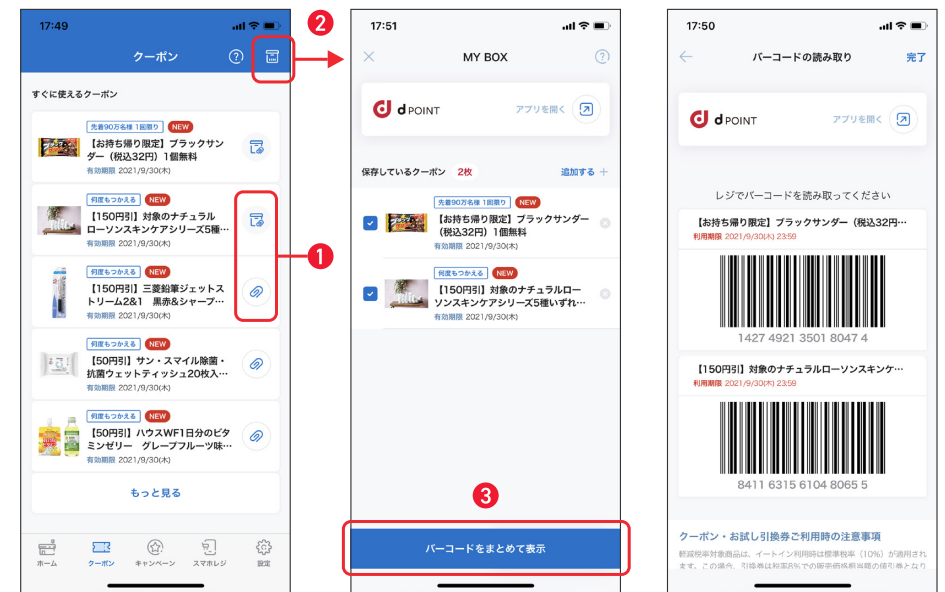
### セブン-イレブン



#### UI・使用感についての気づき

使いたいクーポンが複数ある場合、①各クーポンに付随している「まとめて使う」ボタンをタップしてから、②画面右上にある「まとめて使う」ボタンをタップすると、選択したクーポンのバーコードが会員コードと一緒に表示され、まとめてバーコードを提示&スキャンすることができるので、ユーザーにもレジ担当者にも優しいUIになっている。

### ローソン



#### UI・使用感についての気づき

①クーポンの右側にあるクリップボタンをタップすると、②画面右上にあるMY BOXに使いたいクーポンが保存される。③MY BOX画面の「バーコードをまとめて表示」ボタンをタップすると、選択したクーポンのバーコードがまとめて表示され、レジ処理をスピーディーに行なうことができる。

## 4 クーポン画面②

### ファミペイ

クーポン画面



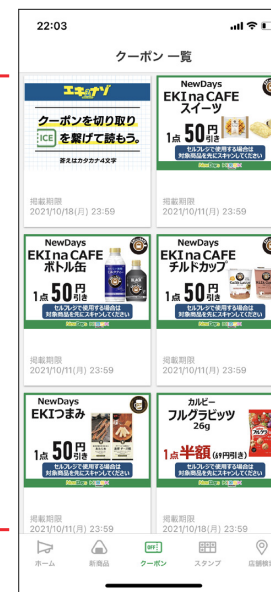
ホーム画面



#### UI・使用感についての気づき

①クーポン画面で「使う」ボタンをタップしてから②画面下部の「決定する」ボタンをタップすると、クーポンのセットが完了したバーコードがホーム画面に表示される。あらかじめクーポンをセットしておけば、アプリ起動ですぐにクーポンのバーコードが表示されるので、レジでスムーズに提示できて便利。

### NewDays



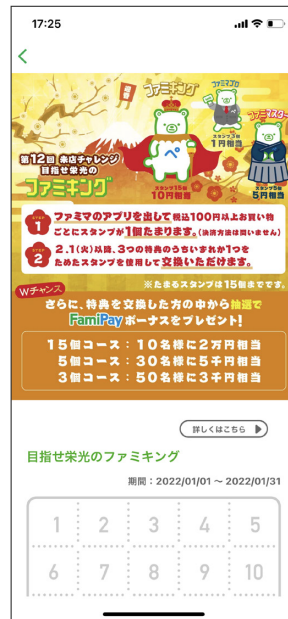
#### UI・使用感についての気づき

① 1画面でクーポンを多く表示できるレイアウト。一度に複数のクーポンを使用することができないので、その点が改善されると使い勝手が良くなると感じる。

# 5 Pick Up

## スタンプカードで来店頻度を高める

ファミペイ



商品を購入してスタンプを貯めると、無料クーポンがもらえたり、最大2万円相当のファミペイボーナスが抽選で当たるキャンペーンが実施されている。特典を目当てに来店頻度も増え、売り上げの向上につながる重要な施策となっている。

## キャッシュレス決済コードをサッと提示

セブン-イレブン



ファミペイ



セブン-イレブンはホーム画面に「支払う」ボタンがあり、ワンタップでPayPayの決済バーコードが表示される。一方、ファミペイはホーム画面に決済バーコードが常設されている。キャッシュレス決済など頻繁に使う機能を、アプリ起動したらずぐ表示できる設計にしておくとう利便性が高まる。



## 6 総評

コンビニエンスストアは1日の利用者も多く、レジ処理をいかにスピーディーに行なえるかが課題となっています。キャッシュレス決済の普及によりスムーズな支払いが可能となってきた現在、コンビニエンスストアのアプリ自体もさらなる使いやすさ向上のための工夫が求められています。複数のクーポンをまとめてバーコード提示できる機能を搭載するなど、レジ処理の負担を減らすことはもちろん、レジ前でアプリ操作につまずくことなく、少ないタップ数で直感的に操作できるUI設計が今後も重要となってくるでしょう。

GROWTH MARKETING